

農業



平成26年12月号
会誌 No. 1593

目次

巻頭言

遺伝子組換え（GM）作物……………大杉 立 3

論壇

焼きいもビジネスを興した人たち……………狩谷 昭男 4

先進的農業経営研究会

東北地域の大規模水田作経営の事例…………… 6

－わが国農業を先導する先進的農業経営研究会（第2回会合）－

話題提供

地域と共に歩む！ 農作業受託や借地を主体にした

水田大規模経営……………境谷 博顯 6

10年後も生き残れる農業経営をめざして……………盛川 周祐 10

意見交換…………… 21

農事功績者座談会

環境に配慮した大規模ユリ専作法人経営…………… 31

私の経営と農業への思い……………平出 孝司 31

現地指導者のコメント……………齊藤 総幸 37

質疑・討論…………… 39

表彰農家訪問

高品質・種なしピオーネ生産による高収益ブドウ経営…………駒村 研三 52
- 吉岡朝晴氏を中国山地の岡山県新見市に訪ねて -

農業・農村の現場から

「女性が拓く農業経営」シリーズ（第1回）
「農家だからできること」に魅せられて…………諸藤 享子 60
- リンゴ産地の女性後継者 青森県弘前市 -

世界の農業は今

フィリピン・ネグロス島におけるサトウキビ栽培と環境保全…後藤 慎吉 65

統計情報…………… 70

農政情報…………… 71

平成26年度農業技術功労者表彰…………… 71

大日本農会だより…………… 72

編集部から…………… 72

「農業」年間総目次…………… 73

表紙写真説明

富士山麓の「水かけ菜」(静岡県富士宮市^{はんの}半野)

富士山周辺山麓では、所々で、稲刈り後の水田を耕して伝統野菜の「水かけ菜」を栽培するほ場を見ることができる。寒いこの時期に栽培が可能な理由は、1年中水温13度前後に保たれる富士山麓の湧水を利用しているためである。水の中で育つため、アクが少なくクセが無く、シャキシャキ感が良いのが特徴という。2月頃の寒い時期に行う収穫は厳しい作業に違いない。収穫後に短時間で萎れるため、生葉での販売や漬物加工はその日のうちに行わねばならないという、独特の野菜栽培である。

(写真／文：編集部)